

## 3 共同生活援助

## ◇ 障害特性問題について（現状・課題のコメントが多かった項目）

- ① マンツーマン対応（身体的&行動及び精神-ソフト面）
- ② 不穏時・問題行動（行動及び精神-ソフト面）
- ③ バリアフリー（身体-ハード面）

## &lt;提案された解決案&gt;

- ①・②：「職員の確保やスキルアップ」など、現状・課題と同等の、具体的な対策案
- ③：「施設の改修・バリアフリー化」について、現状・課題と同等の対策案

## 4 日中一時支援

## (1) 利用実績について

- ① 定員数×稼働日数：旧長岡市が最も多い。長岡市の約5割を占める。
- ② お断り延人数-キャンセル延人数  
：春休み（3・4月）・夏休み（7・8月）は、お断り延人数の超過が顕著。
- ③ 希望集中曜日等：土曜日と回答した事業所が最も多い。
- ④ 稼働率：各地域 15～40%程度 ⇒「職員体制が不十分」「キャンセル」が主要因

## (2) 障害特性問題について（現状・課題のコメントが多かった項目）

- ① マンツーマン対応（身体的&行動及び精神-ソフト面）
- ② 不穏時・問題行動（行動及び精神-ソフト面）
- ③ 医療行為（身体的-ソフト面）

## &lt;提案された解決案&gt;

- ①・②：「職員の確保やスキルアップ」など、現状・課題でのコメント数と同等の、具体的な対策案が挙げられている。
- ③：現状・課題でのコメント数に比べ、対策案のコメント数が少ない。

## 5 放課後等デイサービス

## (1) 利用実績について

- ① お断り延人数-キャンセル延人数：  
春休み（3・4月）・夏休み（7・8月）・冬休み（12月・1月）は、お断り延人数の超過が顕著
- ② 希望集中曜日等：曜日・時期不問と回答した事業所が最も多い。
- ③ 稼働率：約75%前後⇒「時期的な利用希望者数の差異」「キャンセル」が主要因

## (2) 障害特性問題について（現状・課題のコメントが多かった項目）

- ① マンツーマン対応（行動及び精神-ソフト面）
- ② 不穏時・問題行動（行動及び精神-ソフト面）
- ③ 医療行為（身体-ソフト面）

## &lt;提案された解決案&gt;

- ①・②：「職員の確保やスキルアップ」など、現状・課題でのコメント数より少ないが、具体的な対策案が挙げられている。
- ③：現状・課題でのコメント数に比べ、対策案のコメント数が少ない。

## 福祉サービス等供給実態調査の結果概要

平成 29 年 5 月  
長岡市福祉保健部福祉課  
長岡市子ども家庭センター

## 調査の背景と目的

## 現 状

- ・ 福祉サービス等については、本人・家族が相談支援事業所と相談しながら利用している
- ・ 必要とされるサービスが定員、移動距離、受入体制などにより、必ずしも十分に利用できていない（＝「サービスが不足している」という声も聞かれる



## 福祉サービス等供給実態調査の実施＝実態把握

◆ **一次調査（相談支援事業所を対象とした調査）** H28.10月実施  
相談支援事業所の相談登録者のうち、必要とされるサービス等が希望どおり利用できていない人を抽出し、利用できていないサービス及びその理由を調査した。  
【調査対象のサービス】  
障害福祉サービス、地域生活支援事業、地域活動支援センター、障害児通所支援

◆ **二次調査（相談支援事業所を対象とした調査）** H29.1～2月実施  
一次調査の結果を詳細に把握するために、不足が顕著なサービスに焦点を絞り、理由として挙げられた『障害特性問題』『定員問題』の2つの理由の詳細を調査した。

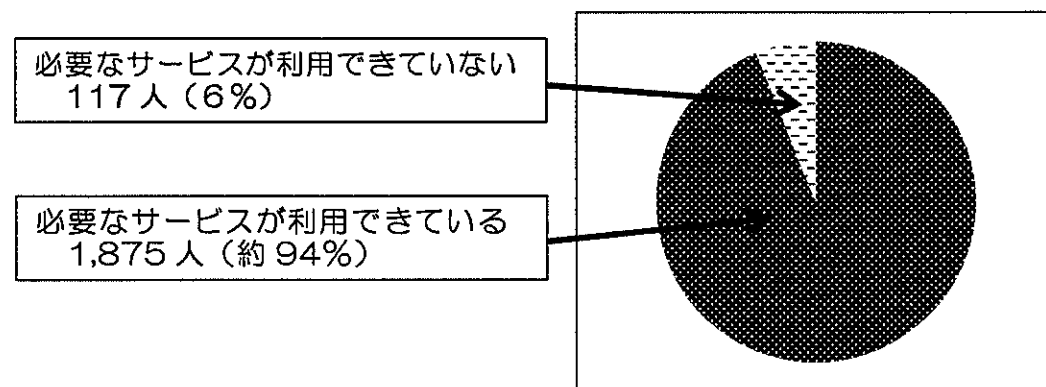
◆ **三次調査（サービス提供事業所を対象とした調査）** H29.3月実施  
一次調査および二次調査の結果を踏まえ、不足が顕著なサービスの提供事業所における現状と課題を確認した。



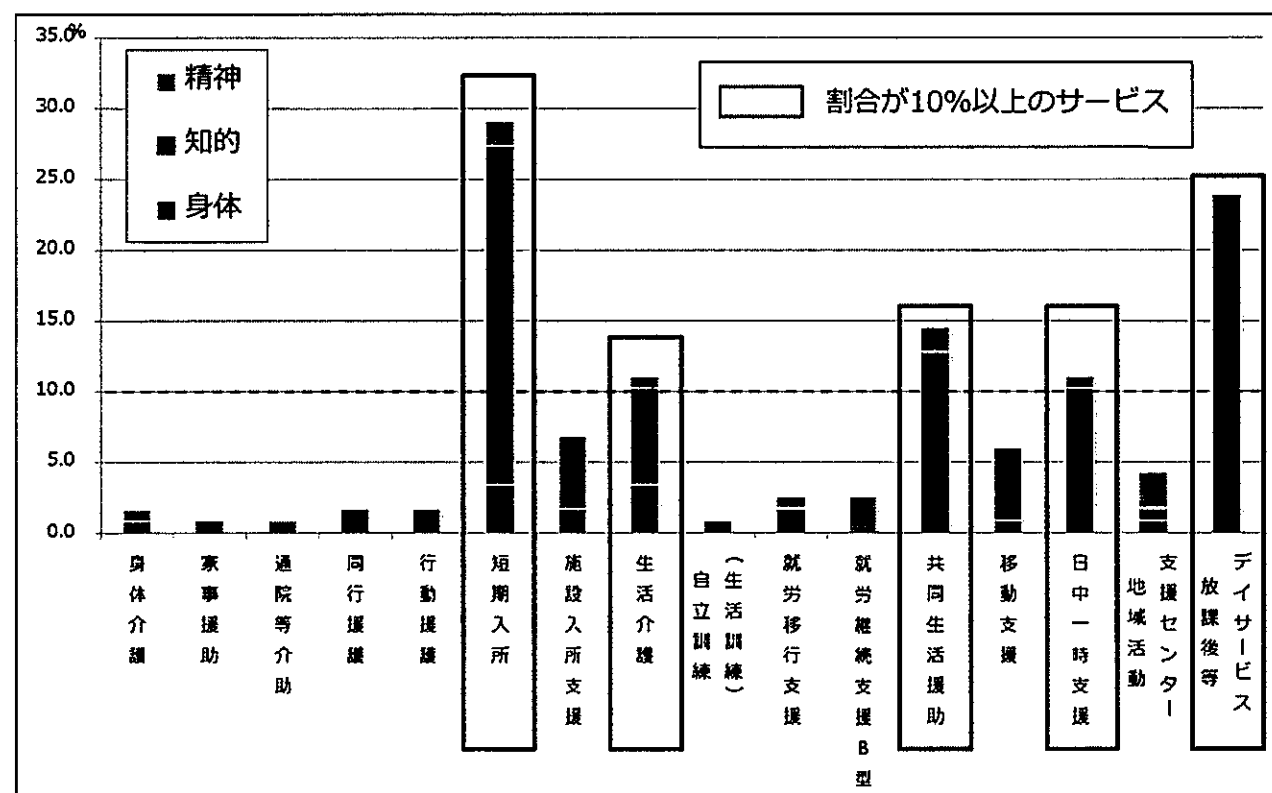
第5期障害者基本計画・障害福祉計画（平成30～32年度）に反映  
必要な施策の実施

## 一次調査結果

1 サービス等が必要な対象者のうち、6%が必要なサービスを利用できていない。



2 不足しているサービスの中で、『短期入所』『生活介護』『共同生活援助』『日中一時支援』『放課後等デイサービス』の5サービスにその割合が高い結果となった。



3 不足の上位5サービスを利用できない理由として『障害特性問題』『定員問題』によるものが、理由の多くを占める結果となった。(単位：%)

	短期入所	生活介護	共同生活援助	日中一時支援	放課後デイ
障害特性問題	55.9	38.5	41.2	46.2	21.4
定員問題	32.4	38.5	41.2	38.5	71.4
合計	88.3	77	82.4	84.7	92.8

## 二次調査結果

1 障害特性問題で利用が断られた・制限された理由のうち、「行動及び精神の問題(ソフト面)」が半数以上であった。(単位：%)

具体的な内容	短期入所	生活介護	共同生活援助	日中一時支援	放課後等デイ
行動及び精神の問題(ソフト面)	71.4%	66.7%	50.0%	71.4%	77.8%
身体的な問題(ソフト面)	14.3%	0.0%	12.5%	28.6%	0.0%
身体的な問題(ハード面)	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
行動及び精神の問題(ハード面)	14.3%	16.7%	0.0%	0.0%	11.1%
その他(ソフト面)	0.0%	16.7%	12.5%	0.0%	11.1%

2 定員問題で利用が断られた・制限された理由

短期入所・日中一時支援 ⇒ 休前日・土日祝日の不足が顕著

放課後等デイサービス ⇒ 『定期的な利用』では平日が不足、  
『一時的な利用』は曜日を問わず不足

## 三次調査結果

1 短期入所

(1) 利用実績について

- ① 定員数×稼働日数：旧長岡市が最も多い。長岡市の約6割のボリュームを占める。
- ② 希望集中曜日等：曜日・時期不問が全体の約6割。
- ③ 稼働率：各地域でばらつきあり。最も高い栃尾・山古志・川口地域で約7割。

(2) 障害特性問題について(現状・課題のコメントが多かった項目)

- ① マンツーマン対応(身体的&行動及び精神-ソフト面)
- ② 不穏時・問題行動(行動及び精神-ソフト面)
- ③ 夜間・早朝(身体的-ソフト面)
- ④ 医療行為(身体的-ソフト面)

<提案された解決案>

- ①～③：「職員の確保やスキルアップ」など、現状・課題でのコメント数と同等の、具体的な対策案が挙げられている。
- ④：現状・課題でのコメント数に比べ、対策案のコメント数が少ない。

2 生活介護

(1) 利用実績について

- ① 定員数×稼働日数：旧長岡市が最も多い。長岡市の約5割を占める。
- ② 稼働率：長岡市全体での稼働率は約9割。一番低い旧長岡地域でも約8割。

(2) 障害特性問題について(現状・課題のコメントが多かった項目)

- ① マンツーマン対応(身体的&行動及び精神-ソフト面)
- ② 不穏時・問題行動(行動及び精神-ソフト面)
- ③ 個室対応(行動及び精神-ハード)

<提案された解決案>

- ①・②：「職員の確保やスキルアップ」など
- ③：「個室を確保するスペース作り(建替・資金確保など)」、「個室と同等なスペース(パーティションなど)の作成」など